

5 - 1 子育てにやさしいまちづくり

1 子育てを支援する生活環境の整備

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
501	子育てに配慮した住宅建設の促進	安全性の考慮やバリアフリー*、犯罪被害予防、安全な中庭公園など、子育てに配慮した「子育て支援マンション」の建設を促進します。	68	17年度	0		D		未実施	まちづくり条例等に規定がないため、建築課として施策することが出来ない。	民間開発者との十分な話し合いの場の設置が必要。又、経済的負担が大きく係ることからあくまで事業者の理解と協力が大前提となる。	建築課
				18年度	0		D		未実施		民間開発者との十分な話し合いの場の設置が必要。又、経済的負担が大きく係ることからあくまで事業者の理解と協力が大前提となる。	
				19年度	0	未実施	D	民間開発者への負担が大きいと難しい	未実施		民間開発者との十分な話し合いの場の設置が必要。又、経済的負担が大きく係ることからあくまで事業者の理解と協力が大前提となり、結果を求めることは難しい。	
				20年度(予定)	0	未実施			未定			
502	公営住宅等の誘致	民間住宅の借り上げなどの手法について検討しながら、子育て家庭に配慮した公営住宅の誘致に努めます。	69	17年度	0		D		通年		今後、県営住宅施策は新規事業への取り組みが財政状況等の面から困難であるため誘致ができない。	建築課
				18年度					通年	今後、県営住宅施策は新規事業への取り組みが財政状況等の面から困難であるため誘致が出来ない。又、市長も市営住宅の建設は考えてないと平成14年3月議会で答弁		
				19年度	0	家賃補助のある賃貸住宅(埼玉県特定優良賃貸住宅)、県営住宅の紹介を行った。	C		通年	県営住宅施策は新規事業への取り組みが財政状況等の面から困難であるため誘致が出来ない。また、市は市営住宅の建設は考えてない旨を公表。		
				20年度(予定)	0	H19年度と同様に実施する。			通年			
503	子どもにとって魅力的で快適な街づくり	和光市都市景観形成基本計画や和光市都市計画マスタープランに基づき、緑化の推進や優れた景観の街づくりなど、子どもの視点からみた魅力的で快適な街づくりの展開を図ります。	69	17年度	9,345,000				通年		優れた景観形成を作るための電線地中化による無電柱化工事の推進	都市整備課
				18年度	14,675,000				通年	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事の推進		
				19年度	87,065,000	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事を推進した。 H19年度実績：市道475号線の一部工事	B		通年	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事の推進		
				20年度(予定)	63,000,000	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事を推進する。 引き続き、市道475号線の一部工事を実施する。			通年			

5 - 1 子育てにやさしいまちづくり  
2 子育てバリアフリーの推進

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組め(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
504	子育てにやさしい公共施設の整備	「ハートビル法」「埼玉県福祉のまちづくり条例」などを基に、段差のない歩道、利用しやすいエレベーターやエスカレーターの整備など、子どもや妊産婦、親子連れが利用しやすいよう、公共的建物などの施設の整備を推進します。また、市の施設には、全てにベビーベッド、オムツ交換台を設置します。	69	17年度	0	第四小学校の改造工事(エレベーターの設置等) 総合体育館の建設	B		通年		暫時整備は進めているが、既存建築物のなかには老朽化が進んできているものもあり、経済面での慎重な検討が必要	建築課
				18年度	0	南地域センター、老人福祉センター、総合体育館にエレベーターの設置。新倉、第三小学校、大和中学校の建設。	A		通年	暫時整備は進めているが、既存建築物の中には老朽化が進んできているものもあり、経済面等での慎重な検討が必要。		
				19年度	0	新倉小学校校舎改築工事 等	C		通年	暫時整備は進めているが、既存の市管理建築物については、内外装改修等の予定や経済面等の調整・検討が必要。		
				20年度(予定)	0	南公民館エレベーター改修工事(生涯学習課)等			通年	市管理建築物については、事業課にて予算の確保及び改修を計画する必要があるため、建築課として施策することは出来ない。		
505	子育てにやさしい店づくり	子ども連れで食事しやすい店や、親子利用のトイレ、おむつ換えベッド、授乳スペースの確保、ベビーカーの貸出、用事を済ます間の託児サービスなど、子育てにやさしい店づくりを促進します。そのような店を子育て応援企業として市が指定し、広く広報活動を行い企業への啓発を図ります。	69	17年度	0		D		未実施		市内事業所等との連携がどのように出来るか地域振興課と検討していく	こども福祉課
				18年度	0		D		未実施	関係課と検討		
				19年度	0	平成19年度から埼玉県が「パパママ子育て応援ショップ」事業を開始し、子育て応援企業を指定したため、市は利用促進と啓発活動を行った。	A		5月1日から応援ショップ事業開始	子育て応援事業者の活用・拡大が課題である。		
				20年度(予定)	0	引き続き、パパママ応援ショップ事業の啓発を行う。			通年			
506	子育てマップの作成と公開	子どもや保護者の視点を取り入れながら、子育てマップを作成するとともに、ホームページに掲載します。	69	17年度	0		D		未実施		こども及び保護者の視点を取り入れる為の方法及び方向性等を検討する。	こども福祉課
				18年度	0		D		未実施	こども及び保護者の視点を取り入れる為の方法及び方向性等を検討する。		
				19年度	793,800 (子育てガイドブック4500部印刷代)	平成19年12月発行の「子育てガイドブック」の中に一部記載し、市HPに掲載した。	B		12月発行	「子育てガイドブック」改訂時に、マップを添付するなどの手法を検討する。		
				20年度(予定)	0	引き続き、昨年作成したガイドブックを配付する。市のホームページ等に掲載し、周知する。			市ホームページ掲載 8月～ 他は通年実施	21年度子育てガイドブックの見直し及び発行(ホームページ上では、継続して啓発)		

5 - 2 安全・安心なまち

1 子どもに対する犯罪被害の予防・防止

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
507	防犯意識の啓発	警察と協力しながら保護者や子ども達に対し、防犯意識の啓発に努めます。また、朝霞地区防犯協会とタイアップし、駅前を中心にチラシ等を配布する夜間啓発活動を行います。	71	17年度	384,000		B		8月		和光市地域防犯推進委員をはじめとする地域住民の参加を促進する。	くらし安全課
				18年度	160,000		B		通年	啓発活動をより有効にするために、実施する時期や時間帯を考慮する。		
				19年度	874,948	警察・自治会・防犯推進委員・市と協働で駅前を中心にチラシ及び啓発グッズを配布した。	B		通年	啓発活動をより有効にするために、実施する時期や時間帯を考慮する。		
				20年度(予定)	871,500	警察・自治会・防犯推進委員・市と協働で駅前を中心にチラシ及び啓発グッズを配布する。			通年			
						予算額(円)						
508	防犯体制の充実	防犯に関する行動計画を策定し、自治会、育てる会、防犯協会、朝霞警察署や市内交番等と協働で防犯活動を進めます。	71	17年度	70,650		C		12月		和光市防犯計画に基づく防犯施策を実施していく。	くらし安全課
				18年度	200,000	防犯リーダーを養成する講座を開催し、37名が修了する。	A		7月～9月	講座内容の充実を図るとともに、参加者の募集方法を工夫する。		
				19年度	96,012	防犯リーダー養成講座(修了者26名)やおとどけ講座を実施し、防犯活動を進めた。	A		防犯リーダーの養成: 10月～12月 その他:通年	講座内容の充実を図るとともに、参加者の募集方法を工夫する。		
				20年度(予定)	80,000	引き続き、防犯リーダー養成講座やおとどけ講座の実施に加え、和光市地域防犯推進委員対象の講習会を実施する。			防犯リーダーの養成: 10月～12月 その他:通年			
						予算額(円)						
509	防犯灯の設置	夜間における犯罪の未然防止と通行の安全性確保のため、必要な箇所に防犯灯の整備を進めます。	71	17年度	500,000		C		通年			くらし安全課
				18年度	500,000		B		通年	防犯灯設置及び修繕に対する補助金活用の促進を図っていく。		
				19年度	244,657	防犯灯の設置や修繕について、事業補助金を交付し、整備・維持を行った。	B		通年	防犯灯設置及び修繕に対する補助金活用の促進を図っていく。		
				20年度(予定)	300,000	防犯灯設置・修繕事業補助金			通年			
						予算額(円)						

5 - 2 安全・安心なまち

1 子どもに対する犯罪被害の予防・防止

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
510	子ども防犯ネットワーク	子どもを犯罪から守るために、講演会の開催、パトロールの実施などの子ども防犯ネットワークの活動を促進します。緊急時の子どもの避難場所として、「子どもを守る家」の設置を促進します。また、関係機関、近隣市等と連携しながら、不審者や事件発生等の緊急情報ネットワークづくりを検討します。	71	17年度	67,000		B		12月25日 実施			くらし安全課
				18年度	969,885		A		9月にスクールガード用の防犯用品を各小中学校に配備する。			
				19年度	1,941,815	NPO地域防犯ネットと協働で、和光市地域安全マップ作成した。また、防犯講演会を実施した。	A		防犯講演会：2月8日	ネットワークの構築や維持には、市民の協力が不可欠である。		
				20年度(予定)	325,722	引き続き、防犯講演会を実施する。			2月に講演会実施予定			
				予算額(円)								
511	学校での防犯対策	学校の先生を対象とした防犯講習会を実施するとともに、不審者等の侵入・暴行に備えて、各学校へ防犯用品(楯)を備えます。また、各学校ごとに警察の指導員による防犯教育を実施するとともに、小中学生に防犯ブザーの貸し出しを行います。	71	17年度	0		C				平成18年度に保育園や児童センター等へ防犯用品を配備するとともに、内容の拡充を図る。	くらし安全課
				18年度	1,254,393	保育園や児童センター等へ防犯用品を配備するとともに、内容の拡充を図った。	A		7月			
				19年度	0	未実施	D	他の事業を優先して行ったため。	未実施	学校の協力を得て事業が実施できるため、学校との協力関係の構築が必要である。		
				20年度(予定)	0	実施予定なし。			未定	未定		
				予算額(円)								
				17年度	630,000	年間(防犯ブザーの貸与・防犯教室・防犯訓練・研修会への参加伝達)	A		通年			学校教育課
				18年度	588,000	年間(防犯ブザー貸与・スクールガード制度の実施・子ども安全マップの作成・防犯教室の実施)	A		通年	学校地域の連携		
				19年度	588,000	小・中学生に防犯ブザーを貸与スクールガードの実施、防犯教室の実施	A		通年	学校地域の連携充実		
				20年度(予定)	659,400	小・中学生に防犯ブザーを貸与スクールガードの実施、防犯教室の実施			通年			
				予算額(円)								

5 - 2 安全・安心なまち

1 子どもに対する犯罪被害の予防・防止

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組め(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
512	保育園・保育クラブの防犯対策	各施設で作成した緊急時の対応マニュアルに基づき、随時訓練を実施します。	71	17年度	0		A		通年		消防署、近隣地域と連携する等、内容の充実を図る。	こども福祉課
				18年度	0		A		通年			
				19年度	0	各園で作成したマニュアルに基づき、各園にて防災、防犯訓練を実施した。	A		通年			
				予算額(円)								
				20年度(予定)	0	引き続き、各園にて防災、防犯訓練を実施する。			通年			
				17年度	0		A		通年	こども福祉課		
				18年度	0		A		通年			
				19年度	0				通年	生涯学習課		
20年度(予定)	0				通年							
513	防犯パトロールの実施	公用車へ「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、啓発に努めます。また、市職員による青色防犯パトロールカによる防犯パトロールを実施していきます。	71	17年度	0	「防犯パトロール中」のステッカーを庁用車に貼付	C		4,7,12月		平成18年度から、4・7・12月に防犯ステッカーを貼付する。対応マニュアル等を作成する。	くらし安全課
				18年度	0	「防犯パトロール中」のステッカーを庁用車に貼付 「和光市職員防犯パトロール対応マニュアル」を作成し、犯罪等の現場に遭遇した場合に、適切に対応できるようにした。	A		4,7,12月			
				19年度	76,125	庁用車に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り走行することや毎週2回市職員による「青色防犯パトロール」を実施した。	A		4・7・12月 「防犯パトロール中」のステッカー貼り 毎週2回「青色防犯パトロール」	青色防犯パトロールを委託化して、夜間などもパトロールを行いたい。		
				予算額(円)								
				20年度(予定)	485,542	引き続き、「防犯パトロール中」のステッカーを貼り走行することや毎週2回市職員による「青色防犯パトロール」を実施していく。			4・7・12月 「防犯パトロール中」のステッカー貼り 毎週2回「青色防犯パトロール」			

5 - 2 安全・安心なまち  
2 子どもの交通事故の防止

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
514	交通安全教育の推進	関係機関、団体と連携を密にして交通安全教育を充実します。また、幼稚園や保育園等で保護者と一緒に交通安全教室の実施や、通学路における街頭指導を行います。	72	17年度	0							道路安全課
				18年度	0							
				19年度	0	未実施	D	他の事業を優先したことや幼稚園・保育園との連携が十分でなかったため。	未実施		幼稚園・保育園との連携を強化する必要がある。	
				20年度(予定)	0	実施の予定なし。			未定	未定		
515	通学路の安全確保	スクールゾーンの設定や交通指導員の配置など、通学途中の交通事故防止に努めます。	71	17年度								学校教育課
				18年度								
				19年度	0	通学路の改善要望に対して、朝霞警察署や道路安全課と連携・協議し通学路の安全確保・改善に努める。	A		通年		推進	
				20年度(予定)	0	通学路の改善要望に対して、朝霞警察署や道路安全課と連携し通学路の安全確保・改善に努める。			通年			
516	安全でゆとりある道路環境の整備	歩道の整備、防護柵など交通安全施設の整備など、安全でゆとりある道路環境の整備に努めます。特に、生活道路については狭隘道路の解消を行い、子ども達が安心して通行できるよう努めます。	72	17年度	78,760,500		B		通年			道路安全課
				18年度	138,064,500		B		通年		道路整備計画と連携しながら安全対策を図る。	
				19年度	102,039,000	歩道のバリアフリー化(段差解消)については、平成17年度に事業終了となっている。(実績108箇所)その後は、道路整備計画に基づき、道路改良工事の一環として歩道築造工事を随時実施した。(平成19年度実績:歩道築造工事を含め9件の改良工事)	B		通年		道路整備計画と連携しながら安全対策を図る。	
				20年度(予定)	135,201,000	H19年度同様実施する。			通年			

5 - 2 安全・安心なまち

3 防災対策の充実

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組め(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	取り組めていない理由	実施時期	実施予定(実施予定年度)	課題と今後の方向性	担当課
517	災害に備えた安全なまちづくり	関東大地震に備えて、通学路や子どもの利用する施設周辺のブロック塀や看板等の安全点検と改善を促進するとともに、自主防災組織の育成と防災訓練などの自主的な活動の強化に努めます。	72	17年度								都市整備課
				18年度	14,675,000		C			19・20年度	電線地中化により電柱及び付属物の倒壊の危険回避	
				19年度	67,065,000	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事を推進した。 H19年度実績：市道475号線の一部工事	B		通年	電線地中化により電柱及び付属物の倒壊の危険回避を目的とする。		
					予算額(円)							
				20年度(予定)	63,000,000	優れた景観形成を作るための電線地中化(無電柱化)工事を推進する。 引き続き市道475号線の一部工事を実施する。			通年			
				<hr/>								
518	災害に備えた安全な学校づくり	校舎の耐震化を計画的に進めるとともに、長期にわたる避難所としての設備の充実に努めます。	72	17年度	4,043,000		B		通年		災害時における自助・共助となる自主防災組織の育成と活発な活動を促進。	くらし安全課
				18年度	3,000,000		A		通年	災害時における自助・共助となる自主防災組織の育成と活発な活動を促進。		
				19年度	6,107,395	市民の自主的な防災活動の促進を図るため、自治会等が実施する防災活動に対して補助金を交付した。	A		通年	災害時における自助・共助となる自主防災組織の育成と活発な活動を促進する。		
					予算額(円)							
				20年度(予定)	4,000,000	引き続き、市民の自主的な防災活動の促進を図るため、自治会等が実施する防災活動に対して補助金を交付する。			通年			
				<hr/>								
518	災害に備えた安全な学校づくり	校舎の耐震化を計画的に進めるとともに、長期にわたる避難所としての設備の充実に努めます。	72	17年度	1,215,792,000		A		通年		校舎の耐震補強については、18年度にほぼ完了。体育館等は、継続防犯も含めて、安心・安全のため継続的に工事あり	教育総務課
				18年度	1,282,823,000		A		通年	体育館の耐震化を進める。		
				19年度	1,249,029,050	新倉小学校校舎改築工事(18-19継続、耐震化、児童増) 第三小学校体育館耐震補強工事(耐震化) 第五小学校体育館耐震補強工事(耐震化)	A		通年	今後も体育館の耐震化を進めていく。		
					予算額(円)							
				20年度(予定)	2,793,000	第四小体育館耐震補強設計業務委託(耐震化)			5月～1月	21年度に第四小学校体育館耐震補強工事を実施予定		